

～安全・安心を確保するために～

出水期に備えて

土砂災害発生時の対応演習を実施しました!



本番さながらに演習を実施



被災状況を把握し、共有化

4月20日(金)、湯沢砂防事務所において土砂災害発生を想定した対応演習を実施しました。

演習では、管内各所で大雨が降ったという想定で、巡視点検や関係各所への情報伝達及び応急復旧工法の検討を本番さながらに実施しました。

平成29年は、九州北部豪雨をはじめ土砂災害が多く、全国では1,514件、その内新潟県では全国2位の195件の土砂災害が発生しました。また、平成30年4月には大分県中津市で6名が犠牲になる大規模な土砂災害が発生するなど、管内でいつ災害が発生してもおかしくありません。

湯沢砂防事務所管内でも、平成23年7月の新潟・福島豪雨や平成25年9月の台風18号などの豪雨による土砂災害が各所で発生しています。

湯沢砂防事務所では、今回の演習を生かし、実際の災害発生時にも、状況の把握や応急対応を速やかに実施できるよう努めて参ります。